

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度岐阜県立池田高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和5年1月25日（水）10：00～12：00
- 3 開催場所 池田高等学校会議室
- 4 参加者 会長 小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長
副会長 西川 昭 地域商工会議等代表（欠席）
委員 仲井 智一 池田町教育長
宇野 秀宣 神戸町教育長（欠席）
三浦 徹大 池田町立池田中学校教頭（代理出席）
山田 直人 神戸町立神戸中学校長
寺戸 敏彦 池田町杉野区長
高橋あゆみ 神戸町立図書館運営協議会委員
神戸町立北小学校・神戸町南小学校読み聞かせボランティア
安田 正博 垂井町青少年県指導員
山川 緑 育友会長

学校側 西谷 徹 校長
栗原 利樹 教頭
若園 佳織 事務長
吉田 一臣 教務主任
稲葉由里子 生徒指導主事
古山 克幸 進路指導主事

5 会議の概要（協議事項）

（1）「令和4年度自己評価」について

①「教育課程・学習指導」

意見1：個別最適化された学びという点で、コース選択が多く生徒にとって魅力がある。

7限選択授業を来年度も希望する生徒が約8割いるのは、生徒の実態をよく見ている表れであると思う。

②「生徒指導・教育相談・特別活動」

意見2：ボランティア活動に関する自己評価がAであるのはその通りだと思う。生徒が積極的に参加している。ところで評価項目にはないが、生徒による校則の見直しは行っているか。

⇒校則改定の手続きに係る文言を、学校運営協議会でも話題にして変更した。

大きな改定につながるような意見はまだ生徒から上がってきていないが、細かな変更は行っている。

意見3：校則の改定に関して、枝葉ではなく幹になる部分を生徒に求めるのは難しいが、そうした取り組みをお願いしたい。

③「進路指導」

意見4：学力の定着の方法として「スタディサプリ」を利用しているとのことだが、どのようなシステムか。

⇒小4から高3までの授業が視聴できる学び直しのできるツールで、授業や課題として配信している。

意見5：単位制になって6コースあるとのことだが、ガイダンス開催上の課題は何か。

⇒10月にガイダンスを行うが、もっと長期的にできないかと考えている。またコースの特色を出すために授業やそれ以外でもできることはないか検討中である。

(2)「令和4年度ふるさと教育（地域連携による活力ある高校づくり推進事業）」について

意見6：中・高といった縦割的なつながりができてくるとよい。町全体が盛り上がる。

意見7：地域での職場体験の機会が多いと進路を決めやすい。受け入れ企業を増やしてもらいたい。

意見8：生徒からの声を反映できる授業が大切である。主体性を持たせるために、生徒から発信させていくとよい。そこを大人がサポートする。トップダウンではなく、ボトムアップを。

(3)「今後の池田高校について」

意見9：説明や協議を通じて、本校ではみんなで教育活動の底上げをする努力をしていることが分かった。生徒も教員も自分事として将来に向けた努力を来年度も継続してほしい。

意見10：池田高校で大切にしている目標を、縦のつながりの中で小中学校と最大公約数を見つけながら擦り合わせていくと、「地域の中の学校」がより鮮明になっていく。

意見11：子どもの選択肢を広げる、接点をつなげることを大事にしながらやっているとよい。

意見12：これからの労働力を考えたとき、国際化は欠かせない。この地域にもそうした

土壌・環境づくりに携わっていただける人材が必要である。

意見 13：主体的であることは、子どもたちにとって難しいことである。先生方が背中を押してくれていることが分かった。

意見 14：日本は少子化が進んでいる、そのためにグローバル化が不可欠だと思う。留学生の受け入れなど、国際化につなげていくとよりよい高校づくりになるのではないか。

意見 15：本校で学ぶ生徒一人一人が満足できるように、次年度も引き続き進めていただきたい。

6 会議のまとめ

本校は、「Global Welfare（地域・国際社会の中でよりよく生きる）」を学校理念として、地域に貢献し持続可能な社会の発展に貢献できる人材の育成を目標としている。その実現のため教育課程においては、主に「福祉教育」「国際理解教育」「環境教育」の面から様々な学びや体験の機会を設けたり、総合的な探究の時間を軸に探究学習の充実を図ったりしている。今年度から単位制に移行したり、ボランティア部を創設したりしたのはその新しい試みである。また地域と連携した学びにより、考え方や視野の拡大や行動の変容を図り、豊かな進路実現を目指している。

今回の学校運営協議会では、こうした本校の教育活動実績を報告したり、池田町キャリア教育プログラム『学校を飛び出して地元で活躍するオトナを取材しよう！』に参加した生徒によるプレゼンテーションを見ていただいたりすることにより、肯定的な評価と継続的な実践の後押しを得ることができた。今後とも生徒や保護者、地域の期待に応える学校づくりに励みたいと思う。